

安全データシート

この安全データシートは、JIS Z 7253:2012に準拠しています。

発行日 2019-8-6

1: 化学品及び会社情報

製品名 Cellufine MAX DexS -HbP / Cellufine MAX DexS-VirS

安全データシート番号 CPS-F-0066M

安全データシートの供給者の詳細

会社名

JNC株式会社

〒100-8105 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル9階

TEL: 03-3243-6150

FAX: 03-3243-6219

緊急連絡電話番号 ライフケミカル事業部 03-3243-6150

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 液体クロマトグラフィー用充填剤

使用上の制限 推奨用途以外には使用しないでください。

2: 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体 区分 3

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分 2B

発がん性 区分 1A

生殖毒性 区分 1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3(気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 1(肝臓)、区分 2(中枢神経系)

ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H226 - 引火性液体及び蒸気

H320 - 眼刺激

H350 - 発がんのおそれ

H360 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

H335 - 呼吸器への刺激のおそれ

H336 - 眠気やめまいのおそれ

H372 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害: 肝臓

H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(中枢神経系)

注意書き

予防

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を使用すること。
- ・取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

- ・ 熱/高温のもの/火花/裸火および他の着火源から遠ざけること。 - 禁煙
- ・ 容器を密閉しておくこと。
- ・ 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他の機器を使用すること。
- ・ 容器を接地すること/アースをとること。
- ・ 火花を発生させない工具を使用すること。
- ・ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。

対応

- ・ ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
- ・ 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。
- ・ 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- ・ 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。
- ・ 火災の場合:消火するために乾燥した砂、粉末消火剤又は耐アルコール泡消火剤を使用すること。

保管

- ・ 施錠して保管すること。
- ・ 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄

- ・ 内容物/容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

- ・ 該当しない

3:組成及び成分情報

純物質もしくは混合物		混合物		
化学名	重量%	化審法番号	安衛法番号	CAS番号
Cellufine MAX DexS-HbP/ Cellufine MAX DexS-VirS	1-10	N/A	N/A	2222684-05-9
水	71.5-81.9	N/A	N/A	7732-18-5
エタノール	14.5-19.2	(2)-202	(2)-202	64-17-5
りん酸水素二ナトリウム	1.0-1.1	(1)-497	N/A	7558-79-4
りん酸二水素ナトリウム二水和物	0.06-0.07	(1)-497	N/A	13472-35-0

4:応急措置

一般的なアドバイス	ばく露又はばく露の懸念のある場合:医師の診断/手当てを受けること。治療を行う医師にこの安全性データシートを示すこと。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(症状が生じた場合は、医師に連絡すること)。
皮膚に付着した場合	皮膚(又は髪)に付着した場合:汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。症状が出た場合には医師の手当てを受けること。
眼に入った場合	眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。刺激が続くときは医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口を水ですすぐこと 症状が出た場合には医師の手当てを受けること。
最も重要な急性および遅発症状 応急処置を行う者の保護	咳および/または喘鳴、頭痛、疲労感、眠気、乾燥、発赤、灼熱感、錯乱、めまい、意識喪失 すべての着火源を排除すること。医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。指定された個人保護具を使用すること。詳細は8項を参考する。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること。

5:火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素(CO2)、水噴霧、耐アルコール泡消火剤
使ってはならない消火剤	棒状水を使用しないこと。
特有の危険有害性	不完全燃焼で有毒な一酸化炭素ガスが発生することがある。
消火を行う者のための特別な保護	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護

具を使用すること。

6:漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

人員を安全な区域に退避させること。指定された個人保護具を使用すること。詳細は8項を参考する。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。人員を漏出／漏えい（洩）の風上に遠ざけること。全ての着火源を排除すること（近接区域は喫煙とし、裸火、火花又は火炎を排除すること）。フラッシュバックに注意すること。静電気に対する予防措置を講ずること。製品を取り扱うときは使用する全ての器材を接地すること。漏出物に触れたりその上を歩いたりしないこと。8項で推奨されている個人用保護具を着用すること。

保護具及び緊急時措置 環境に対する注意事項

7項及び8項に記載されている保護措置を参照すること。安全に対処できるならば、それ以上の漏えい（洩）又は漏出を防ぐこと。製品が排水路に入らないようにすること。

封じ込め方法

リスクを伴わずに可能ならば漏えい（洩）を止めること。漏出物に触れたりその上を歩いたりしないこと。蒸気抑制泡を使用して蒸気を減らすことができる。流去水を回収するために液体流出物のかなり前方に堤防を築くこと。排水路、下水溝、排水溝、水路に入らないようにすること。後で廃棄するために土、砂又はその他の不燃性材料に吸収させて容器に移すこと。

浄化方法

静電気に対する予防措置を講ずること。せき止めること。不活性吸収材料で吸収すること。回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の予防

全ての発火源を速やかに取り除く。近傍での喫煙、火花や火炎の禁止。

その他の情報

その区域を換気すること。7項及び8項に記載されている保護措置を参照すること。

7:取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

適切な保護具を着用する。換気が十分な場所で取り扱う。熱、火花、裸火から遠ざける。吸入したり飲み込んだりしてはならない。

安全取扱い注意事項

容器を加圧したり落下させない。

一般的な衛生注意事項

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。休憩前および製品の取扱い直後に手を洗うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。

保管

安全な保管条件

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。直射日光や火気を避けること。2～8℃の温度で保管すること。0℃以下の保管禁止。強酸化性物質等反応性の高い物質から離して保管すること。

容器及び包装材料

密閉容器に入れて遮光する。

8:ばく露防止及び保護措置

技術的対策

シャワー、洗眼場、換気システム

許容濃度

化学名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準-管理濃度	ACGIH TLV
エタノール	—	—	STEL: 1000 ppm

生物学的職業性ばく露限界値

該当しない

環境ばく露防止

情報なし

保護具

呼吸用保護具

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる。

手の保護具

適切な手袋を着用する。不浸透性手袋

眼／顔の保護具

密封性の高い安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。長袖の衣類、耐薬品性エプロン、帯電防止長靴

9:物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

特性

値

備考・方法

外観

白色～灰白色スラリー

物理的状態

液体

色	無色	
臭い	情報なし	
臭いのしきい値	情報なし	
pH	データなし	
融点／凝固点	データなし	
沸点／沸点範囲	データなし	
引火点	35 - 38℃	タグ密閉式
蒸発速度	データなし	
燃焼性(固体、気体)	データなし	
燃焼又は爆発の上限／下限		
燃焼上限:	データなし	
燃焼下限:	データなし	
蒸気圧	データなし	
蒸気密度	データなし	
相対密度	データなし	
水への溶解度	水に不溶性	
溶解度	データなし	
分配係数(n-オクタノール／水)	データなし	
自然発火温度	データなし	
分解温度	データなし	
動粘性率	データなし	
動的粘度	データなし	
その他の情報		
爆発性	情報なし	
酸化特性	情報なし	

10:安定性及び反応性

安定性	通常の条件下で安定
危険有害性反応危険性	通常の貯蔵及び使用条件では有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	熱、炎及び火花
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	通常の使用条件下ではない。不完全燃焼した場合は一酸化炭素が発生する。
静電放電に対する感度	該当する

11:有害性情報

急性毒性

毒性情報 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている。

ATEmix(吸入-粉じん/ミスト) 692.80mg/l

化学名	経口LD50	経皮LD50	吸入LC50
水	> 90mL/kg(Rat)	-	-
エタノール	= 7060mg/kg(Rat)	-	= 124.7mg/L(Rat)4h
りん酸水素二ナトリウム	-	-	-
りん酸二水素ナトリウム二水和物	-	-	-

最も重要な急性および遅発症状 眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。

製品情報

飲み込んだ場合	この化学物質または混合物の特定試験データはない。
吸入した場合	この化学物質または混合物の特定試験データはない。
皮膚に付着した場合	この化学物質または混合物の特定試験データはない。
眼に入った場合	この化学物質または混合物の特定試験データはない。眼刺激 発赤、搔痒感、及び痛みを引き起こすおそれがある。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	皮膚刺激のおそれ
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	成分に対して利用可能なデータに基づく分類。眼を刺激する。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 情報なし
 生殖細胞変異原性 情報なし
 発がん性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類

化学名	国内規制	国際癌研究機関(IARC)
エタノール	1A	Group 1

生殖毒性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類
 特定標的臓器毒性- 単回ばく露 気道刺激性、麻酔作用
 特定標的臓器毒性- 反復ばく露 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。(肝臓、中枢神経系)
 吸引性呼吸器有害性 情報なし

12:環境影響情報

生態毒性

化学名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
エタノール	-	LC50:12.0-16.0mL/L(96h, Oncorhynchus mykiss) LC50:>100mg/L(96h, Pimephales promelas) LC50:13400-15100mg/L(96h, Pimephales promelas)	LC50:9268-14221mg/L(48h, Daphnia magna) EC50:=2mg/L(48h, Daphnia magna) EC50:=10800mg/L(24h, Daphnia magna)
りん酸水素二ナトリウム	-	-	-
りん酸二水素ナトリウム二水和物	-	-	-

残留性・分解性 情報なし
 生体蓄積性 この製品のデータはない。

成分情報

化学名	分配係数
エタノール	-0.32

他の有害影響 情報なし

13:廃棄上の注意

残留物/未使用製品の廃棄物 環境中に放出してはならない。現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。
 汚染容器及び包装 現地の法規に従って内容物/容器を廃棄すること。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14:輸送上の注意

国際規制

IMDG 規制対象外
 特別条項 非該当(IMDG特別規定SP144によりアルコールの含有率が24容量%以下の水溶液は危険品非該当)
 ADR 規制対象外
 特別条項 非該当(アルコールの含有率が24容量%以下の水溶液は危険品非該当)
 IATA 規制対象外
 特別条項 非該当(IATA特別規定A58によりアルコールの含有率が24容量%以下の水溶液は危険品非該当)

15:適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR):該当しない

労働安全衛生法

危険物:引火性の物 施行令別表1-4

名称等を表示すべき危険有害物:施行令第18条 別表第9(法第57条)

化学名	区分	Ordinance Number	含有率 %
エタノール	表示対象物質	061	10 - 20

名称等を通知すべき危険有害物対象物質:施行令第18条の2 別表第9(法第57条の2)

化学名	区分	Ordinance Number	含有率 %
エタノール	通知対象物質	061	10 - 20

毒物及び劇物取締法:該当しない

消防法:該当しない(アルコールの含有率が60質量%未満の水溶液は非該当)

船舶安全法:該当しない(アルコールの含有率が24容量%以下の水溶液は非該当)

航空法:該当しない(アルコールの含有率が24容量%以下の水溶液は非該当)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律:海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律および施行令、別表第1の3;区分Z

港則法:該当しない(アルコールの含有率が24容量%以下の水溶液は非該当)

大気汚染防止法:大気汚染防止法第2条、第4段落で定める揮発性有機化合物

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約:該当しない

ロッテルダム条約:該当しない

16:その他の情報

発行日 2019-8-6

改訂日 2022-3-1

免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2014及びJIS Z 7253:2012に準拠しています。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。